

多大なコストと環境の弱体化につながる IT の複雑化を解消することで、アジリティーを強化し、コストを最適化



WebSphere. software

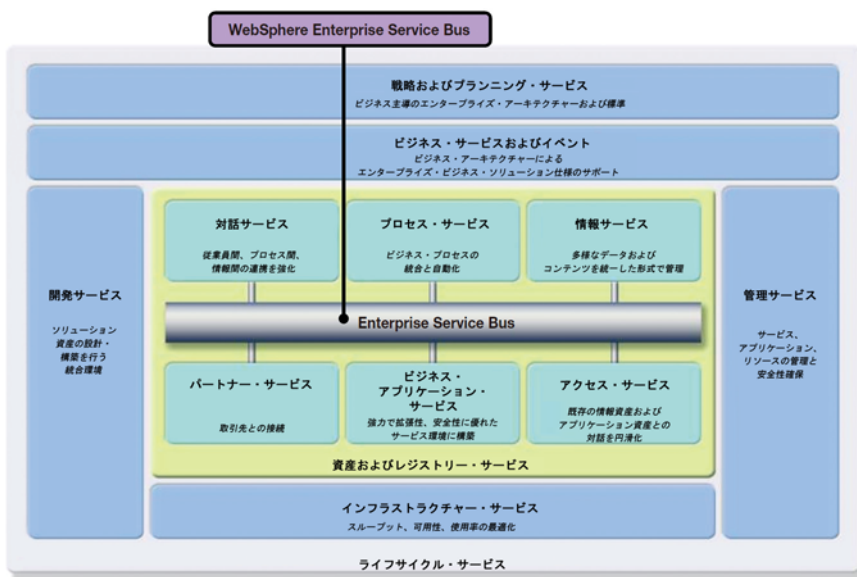
IBM WebSphere Enterprise Service Bus バージョン 7.0

ハイライト

- SOA および BPM プラットフォームとのシームレスな統合によりビジネス・アジリティーを強化します。
- 統合ロジックをアプリケーション・ロジックから切り離すことにより IT の複雑さを軽減します。
- プログラミングとプレビルド・メディエーション・モジュールを最小限にすることにより、迅速で柔軟なアプリケーション統合を実現します。
- 複雑なポイント・ツー・ポイントでの接続および統合のためのコーディングとリソースが不要になるため、統合コストを削減します。
- 従来型、SOA、および Web 2.0 の各テクノロジーをシームレスに接続することにより、新しい低コストのサービスを実現します。

目まぐるしく変化する現在のビジネス環境において、企業が競争力を維持し、顧客のニーズの変化に対応するためには、よりスマートな取り組みを行う必要があります。このスマートな取り組みのカギとなるのが、ビジネスのアジリティーとコストの最適化です。これらの目標を達成するには、IT の複雑性を軽減してビジネスのニーズに迅速かつ容易に対応できるようにすると同時に、イノベーションを行う余裕も必要です。

IBM® WebSphere® Enterprise Service Bus (ESB) が提供する Smart SOA アプローチは、ポイント・ツー・ポイントでの接続や統合に伴って生じる IT の複雑性が、多大なコストや環境の弱体化につながるという事態を解決しながら、最大レベルの信頼性を確保します。これにより、IT 部門は迅速かつ柔軟なアプリケーション統合を費用効果に優れた方法で実現でき、その結果、組織全体の情報フローが改善され、変動するビジネス要件への適応力が高まります。最終的に、収益機会が増え、ROI が改善されます。



SOA 基盤参照モデル

迅速かつ柔軟なアプリケーション統合

WebSphere ESB は、ツールと実行時環境のどちらの面から見ても使いやすく設計されています。WebSphere ESB 用の最適な開発ツールである WebSphere Integration Developer は、最小限のプログラミング・スキルしか必要としない、統合化された対話式のビジュアル開発環境です。わかりやすいサンプルと総合的なドキュメントが用意されており、導入後すぐに使用できるソリューションなので、迅速に開発に着手できます。サービスの宣言や相互接続の定義、そしてメディエーション機能の視覚的な構成（これには、メッセージ・ルーティング、エンリッチメント、および変換処理を実行する優れたツールを使用可能）といった作業が簡単に行えるため、開発が容易になります。さらに、新しく導入された役割ベースの管理機能のサポートにより、ソリューション管理者の操作性が向上し、WebSphere ESB のデプロイも容易に行えます。

また、業務処理の負荷の変化に合わせて、WebSphere ESB で管理する対話を動的に再構成できます。対話の再構成を行うには、WebSphere Integration Developer で相互接続とメッセージ・フロー対話のロジックを変更します。WebSphere ESB の管理コンソールでもこの処理をある程度実行できます。さらに、ESB ベースの他のアプリケーションに影響を与えずに、対

話のエンドポイントを動的に追加または置換することができます。また、管理用の高度な動的クラスター構成機能を使用することで、ビジネス要件の変更に合わせてサービス・エンドポイントの定義を変更したり、再開発や再デプロイを行うことなく実行時のメディエーションの動作を動的に変更したりすることができます。

統合コストの削減と複雑さの軽減

WebSphere ESB は、アプリケーションとサービスを統合する柔軟な接続インフラストラクチャーです。WebSphere ESB により、SOA ソリューションの開発が可能になります。WebSphere ESB を使用すると、アプリケーションとサービスの統合における複雑さが軽減され、SOA が強化されます。WebSphere Application Server、WebSphere Portal、または IBM ビジネス・プロセス・マネージメント (BPM) プラットフォームに別のソリューションを使用している場合、WebSphere ESB の使用をお勧めします。標準仕様に準拠した IT 環境に WebSphere ESB を追加することで、ミドルウェア製品のスキル、コスト、タイム・ツー・バリューの効率化を図ることができます。

WebSphere ESB は、WebSphere Application Server のサービス統合テクノロジーを拡張したサービス・バスであり、WebSphere Process Server に組み込まれるだけでな

く、単独のパッケージとしてもリリースされています。WebSphere ESB を使用すると、接続および統合ロジックが組み込まれたメディエーション・モジュールを実行できます。

WebSphere ESB は費用効果に優れたサービス統合ソリューションです。既存の IT 資産の価値をベンダーに関係なく高めることができる柔軟な統合インフラストラクチャーを迅速に構築できるため、SOA の IT 資産を簡単に使用できます。また、WebSphere ESB はビジネスと IT の各種標準を幅広くサポートするため、相互運用性と移植性が高まり、数多くの独立系ソフトウェア・ベンダー (ISV) ソリューションで得られる優れた機能を利用することができます。また、この製品は、Java™ Connector Architecture (JCA) テクノロジーベースのアダプターなど、WebSphere Adapter ソリューションを幅広くサポートします。

次世代の相互接続への架け橋

WebSphere ESB を使用することで、情報を適切な形式かつタイミングで適切な場所に送信できる使いやすく強力な ESB を構築できます。WebSphere ESB では、標準仕様に基づく接続、一連の対話モデル、高品質の対話サービスおよびメディエーション機能の 3 レベルで、サービス・エンドポイント間の高度な対話が可能です。

WebSphere ESB を使用すると、アプリケーションと異種システムとの間で標準仕様に基づく接続を行うことができるため、SOA 統合のデプロイが容易になり、新しいシステムと既存のシステムの接続・拡張を行うことができます。また、インストール、構成、ビルド、管理を簡単に行うことのできる習得しやすいソリューションであるため、タイム・ツー・バリューが短縮されます。さらに、即応性の高い接続インフラストラクチャーによって変化の激しいビジネス環境に迅速かつ容易に対応でき、ビジネスの柔軟性が高まります。

ご使用の ESB の機能を最大限に発揮できるように、WebSphere ESB ソフトウェアは WebSphere ソフトウェア・スタック全体の製品とシームレスに統合できるため、ユーザーはビジネス上の問題の複雑さに合わせてスタックのレベル間を移動することが可能です。市場のリーダー的存在である WebSphere Application Server 製品の上に構築された WebSphere ESB は、Quality-of-Service (QoS)、負荷分散、クラスタリング、フェイルオーバー、システム管理、高可用性、安全性、拡張性など WebSphere Application Server の機能を継承します。WebSphere ESB の最新リリースは WebSphere Application Server バージョン 7.0 プラットフォームをサポートし、バージョン 7.0 関連のすべての機能が使用可能です。

IBM WebSphere Enterprise Service Bus バージョン 7.0 の新機能

- 複数の役割を対象とした生産性の促進
 - パターン・ベースの開発、ガイド付きタスク・フロー、マッピング機能の強化、シンプルな機能により、WebSphere Integration Developer での強力な開発を可能にします
 - システムの導入とクラスター構成をシンプルにします
 - サービス・モニタリング機能と状態・問題判定機能が強化されたビジネス・スペース・ウィジェットにより、運用の可視性を強化します
 - モジュール管理 ビジネス・スペース・ウィジェットの強化とエンドポイントでのメディエーション・ポリシーのサポートにより、運用の柔軟性を改善します
- WebSphere Application Server V7 の活用と拡張
 - 標準サポートの強化、システムの導入と管理のシンプル化、WebSphere MQ V7 の統合強化を実現します
 - WebSphere Integration Developer 経由で WebSphere Adapter for Lotus® Domino® が新たに追加され、カスタムの Domino アプリケーションを統合できます
- 高度な ESB シナリオへの対応
 - 全社的なサービスの可視性と再利用を管理するために、WebSphere Service Registry and Repository と ESB ファミリーを対象とした新しいサービス・フェデレーション管理機能を提供します
 - マルチプロトコル・サービス・ゲートウェイ・シナリオのサポートを強化します
 - イベント列およびインテリジェントなストア・アンド・フォワード方式により、サービス対話でのプロセスの完全性を強化します
- オープン・スタンダードのサポート強化
 - Java™ の強化: Java EE 5、EJB™ 3.0、JPA、JDK™ 6 をサポートし、Java との統合を強化します
 - Web サービスの強化: WS-Addressing、Attachments、Kerberos トークン・プロファイル、WS-Policy をサポートします
 - UDDI サービスの検索
 - Open SCA との相互運用性、OSGi のサポート、XML フィデリティーを強化します
 - z/OS® の強化:
 - WebSphere Customization Tool と、WebSphere Process Server for z/OS および WebSphere ESB for z/OS のインストール・エクスペリエンスとの統合を改善します
 - DB2® データベースの作成プロセスに役立つツールをサポートします
 - 共通インストーラー・フレームワークにより、すべての z/OS BPM 製品において統合した「ルック・アンド・フィール」(操作性)を提供します



IBM WebSphere Enterprise Service Bus バージョン 7.0 のサポート対象オペレーティング・システム

IBM WebSphere Enterprise Service Bus は、多くのオペレーティング・システムとハードウェア・プラットフォームをサポートします。サポート環境のリストについては、以下のサイトをご覧ください。

www.ibm.com/support/docview.wss?rs=2307&context=SSQH9M&uid=swg27016092

お問い合わせ

IBM WebSphere Enterprise Service Bus バージョン 7.0 に関する詳細は、弊社営業担当者または IBM ビジネス・パートナーにお問い合わせいただくか、以下のサイトをご覧ください。

www.ibm.com/software/jp/websphere/integration/esbv61/

Global WebSphere Community に参加するには、以下のサイトをご覧ください。

www.websphere.org

© Copyright IBM Corporation 2010

日本アイ・ビー・エム株式会社
〒103-8510
東京都中央区日本橋箱崎町 19-21

Produced in Japan
June 2010
All Rights Reserved

IBM、IBM ロゴ、ibm.com、WebSphere は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corp. の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストについては、www.ibm.com/legal/copytrade.shtml をご覧ください。



Recyclable, please recycle.

WSD11358-USEN-01